

企業誘致

岡山県貨物運送の総社主管支店 井尻野の新拠点が稼動

土地の取得を市が仲介し誘致した

井 尻野地内で建設が進められていた岡山県貨物運送株式会社（本社・岡山市北区）の総社主管支店が2月20日しゅん工し、2月27日から運用を開始しました。

同支店は、総社と高梁の両地区の業務を統合し、輸送体制の強化を図るため、紀文食品から購入した国道180号沿いの土地に建設。鉄骨平屋建て一部2階の延べ約2652㎡の建物には、荷物の積みおろしを行うトラックバースを大型用11台分と小型用12台分を整備したほか、荷物の一時保管スペース、事務所なども備えます。同社の壺坂須美男取締役社長は「高速道路のインターチェンジに近く、立地もよい。輸送品質を上げ、地域密着でやっていきたい」と話しました。



業務を開始した岡山県貨物運送の総社主管支店。写真右手奥に見えるのが、大型トラック用のトラックバース

企業誘致の成功は、市への税込増や雇用の創出だけでなく、市内の産業と消費を活性化させる好循環を生み、市の持続的な発展につながると市では考えています。シノブフーズとの立地協定と長良へのG.L.Pロパティーズの進出決定に続き、大黒天物産と立地協定を締結し、岡山県貨物運送の総社主管支店がしゅん工したことは、総社にとって大きな喜びです。

問い合わせ 企業誘致対策室（☎08279）



立地協定書に署名・押印する大黒天物産の大賀昭司代表取締役社長、片岡聡一市長、渡邊繁雄議長（写真右から）

大黒天物産と中原への立地で協定 260人の新規雇用を見込む

生産と物流の拠点、平成25年4月操業開始予定

市 は中原地内に誘致した大黒天物産株式会社（本社・倉敷市）と2月23日、立地協定を市役所で締結。協定書には、同社の大賀昭司代表取締役社長と片岡聡一市長、立会人で市議会の渡邊繁雄議長が署名・押印しました。

同社は、市から購入する約1万1980㎡の土地に加え、隣接地のユニチカテキスタイル株式会社から約6万1336㎡も取得。合わせて約7万3316㎡の土地に、鉄骨平屋建て2万6740㎡程度の製造・加工・物流センターを10月に着工する予定。加工食品や生鮮食品をはじめ、自社ブランドの商品の生産、物流の拠点として平成25年4月の操業開始を目指し、新規雇用は約260人を見込んでいます。

大賀社長は、「高速道路に近い好立地。事業拡大の計画を見据え、製造・加工・物流を集約した拠点と考えている。地域には、雇用をはじめ、いろいろな面で貢献したい」と展望を話しました。

企業誘致